

事例3-4

取組名	「納涼祭」の開催による世代間交流の促進		
町会名	みやたなか 宮田中町会（松南地区）	町会 データ	・人口／1,185人 ・世帯数／537世帯 ・高齢化率／23.4% ・町会加入数／400世帯 ・隣組数／22組
取組概要	○ 町会住民の元気づくりと世代間の親睦・交流の機会として、初めて「納涼祭」を開催 ○ 伝統行事の継承を図るため、子どもたちに青山様、ぼんぼんの体験の機会を提供		

背景・課題

- ・ 当町会の年少人口割合は、約 10%と松南地区の中でも比較的高いほうである。
- ・ その一方で、コロナ禍以降、PTA 活動が停滞し、青山様、ぼんぼん、三九郎といった伝統行事や子ども神輿の実施が難しくなっている。
- ・ 町会活動として伝統行事を継承していくことが期待されるが、他町会同様、町会加入者の減少や役員のなり手不足などの課題を抱えている。

成果・今後の展望等

- ・ 当日は、約 200 人が来場し、青山様・ぼんぼんの体験については、約 20 人が利用した。
- ・ 開催後、次年度の開催を期待する声も聞かれるなど、住民の参加意欲も高いため、今後町会の恒例行事として定着を図りたい。
- ・ また、納涼祭の開催を通じて、町会役員と若い世代との交流の機会が生まれたことから、次年度以降は実行委員を募集し、多世代の参画を促すとともに、将来の町会を担う人材の発掘・育成にもつなげていきたい。

経過・取組内容

- ・ R5、6年度に子ども対象行事として「スイカわり」を実施。R7年度、世代間交流を更に促進するため、「納涼祭」を初めて企画した。
- ・ 「納涼祭」は、町会への加入・未加入を問わず、子どもやその家族のほか、誰でも参加できるものとした。
- ・ 催事内容は、模擬店の出店のほか、伝統行事の継承を図るきっかけとして、子どもたちに「青山様」「ぼんぼん」を体験してもらうコーナーも設けた。
- ・ 「青山様」については、神輿の展示、担ぎ体験及び記念撮影、「ぼんぼん」については、浴衣体験及び記念撮影を内容とした。
- ・ 多世代の参加を促すため、高校生以下の子どもと75歳以上には、模擬店で利用できる無料券も事前配布した。
- ・ なお、実施に当たっては、アトラクション、飲食販売のスタッフ募集も行い、15人の応募があった。



【ポイント】

- ▼ 行事を通じて、町会内の世代間交流を促進
- ▼ 若い世代とのつながりを醸成し、将来の担い手人材を発掘・育成